

生まれてくる子どものための医療（生殖・周産期）に関わる 「生命倫理について審議・監理・運営する公的プラットフォーム」

（公的なサポートを受けアカデミアと
社会が共同して設立する）についての公開討論会

— “できる” ことはすべてやっていいのか？ “ダメ” だとすれば誰が止めるべきなのか？ —

プログラム（敬称略）

日 程 2023年4月2日（日） 13:00～16:30

司 会 武藤 香織（東京大学）
加藤 聖子（公益社団法人 日本産科婦人科学会）

開会の挨拶 木村 正（公益社団法人 日本産科婦人科学会）

講 演

- 1 こども基本法と生まれてくる子ども達のための生命倫理について
自見はなこ（自由民主党 参議院議員）※ビデオレター
- 2 公的プラットフォーム設立に向けた日本産科婦人科学会の取り組みについて
鈴木 直（公益社団法人 日本産科婦人科学会）
- 3 小児科医として子どものアドボカシーの立場から
岡 明（公益社団法人 日本小児科学会）
- 4 網羅的遺伝子解析の光と影
小崎健次郎（一般社団法人 日本人類遺伝学会）
- 5 今なぜ子どもを守るための公的プラットフォームが必要か
吉村 泰典（公益社団法人 日本産科婦人科学会）
- 6 英国の公的機関（HFEA）設置の経緯・運用から学ぶ制度設計
甲斐 克則（早稲田大学）
- 7 公法的な規制根拠・手法の観点から
高山佳奈子（京都大学）
- 8 医事法の観点から
永水 裕子（桃山学院大学）
- 9 議論が必要なことの全体像
神里 彩子（東京大学）

討論・質疑

閉会の挨拶 三上 幹男（公益社団法人 日本産科婦人科学会）